



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2008 / 1 / 10(木)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 13

北海道のジュニアの強化と指導者

北海道バスケットボール協会強化委員会副委員長
エンデバー北海道ブロックチーフコーチ
北海道ジュニアバスケットボール連盟強化委員会
スーパーバイザー 北本貴史

<ジュニアの強化事業>

私が知っている限りでは、組織としてジュニア（中学生）を本格的に選抜して強化が図られたのは、平成元年の北海道国体に向けて行われたのが最初であったと思う。それ以前から、現在ジュニア連盟会長の幸丸政実氏は、視野を広く持って北海道全体を考えながら豊かな発想で、色々な強化対策事業を実行していました。そのつながりで多くの指導者が育ち、現在のジュニア連盟の強化事業にもつながっています。

昭和62年度から中学生の選抜チームによる全国大会が始まり、別表にもある通り、北海道は平成2年度からその大会に参加するようになりました。その大会に参加するための道筋と選手強化を行ないながら、指導者の育成も同時に行ないました。というより、「頑張っている指導者に全国大会を経験するチャンスを与え、指導者同士が勉強し合いながら切磋琢磨させる事によって、選手をいろいろな角度から指導することで強化しよう」と考えたと思っています。

私自身も大学卒業後に、北海道に戻ってきて、選手時代は色々な指導者と接する機会が多く、数多くのことを教えていただきました。それによって、バスケットボールに対する考え方、プレーの幅やプレーの質が上がったと感じています。また、現在指導者としての考え方も、多くの人との出会いがあったから、今の自分が頑張れていると感じています。

幸丸氏が最初の平成2年度の選抜チームのスタッフに入れた、辻野裕義氏（帯広）・清原和広氏（北見）の両氏とも、言い方は悪いですが「バスケットキチガイ」と言われていました。当時はクリニックがあれば必ずと言っていいほど参加し、また、毎週のように札幌の高校に通い指導方法を勉強に来ていました。それ以後今までにスタッフを引き受けた人たちには似たようなところがあります。彼らはみな自分のチームも強くしている指導者であると言っても過言ではありません。オールスターのスタッフに参加して下さった指導者の方々は、1月末から3月までのほとんどの土・日曜に選抜チームの指導をするために、自分のチームの指導ができないというマイナス面があります。さらに、生活指導や自分のチームの練習方法・戦略を惜しげもなく出して指導してくれています。

本来であれば、自分のチームさえ強くなればよいと考え、中体連で戦う相手選手や指導者に手の内を見せないのが普通ですが、嬉しいことに、そんな狭い見の指導者はジュニア連盟にはいません。また、旅費なども満足に支給できず、金銭的にもかなり負担がかかっていると思います。それにもかかわらず、ボランティア精神で、子供たちのために頑張ってくれています。本当にありがたいことと思っています。

選抜チームの指導に、こんなに多く指導者が携わっている都道府県は他にはありません。北海道がナンバーワンだと言えます。3度の優勝、2度の準優勝という成績を残しているのは、各地区協会・連盟の方々とのネットワークが幅広く、いろんな意味で、惜しみなく協力をして下さっているからだと思っています。また、それぞれ指導者はオールスターの指導を離れると中体連で敵になり戦うことになります。その時、勝つために更に自分の指導力に磨きをかけ互いに切磋琢磨して成長することが、これからもジュニア選抜の子供たちを成長させ、強い北海道を作り上げていく力になっていくことだと思って努力しているのです。

ともすれば多くの指導者は、エレファントシンドロームになりがちで、現状維持を考え守りに入ってしまうています。当連盟の素晴らしい所は発想もそうですが、それを現実のものとしていくためのモチベーションを上げさせながら、競い合う意識を高めさせる手法がとてもすばらしく、頑張っている指導者には、必ずチャンスを与えるようにしています。その代わり厳しい指摘もあります。我々が選手を指導する場面でもとても役に立ちます。人それぞれ欠点があります。欠点をなじるのではなく、良いところを認め合いながら、お互いに厳しさをもち、これからも協力して、早く我々の仲間から全国大会で優勝する単独チームがでてきて欲しいと思います。全国大会で上位進出が常時している、強い北海道を目指していきましょう。

<指導者の選出>

1. 選出方法

- ①各地区協会から推薦していただいたコーチを中心に、強化委員会で選考する。
- ②スタッフは強化委員会から2～1名、各地区協会の推薦コーチなどから1～2名とする。(男女各3名、合計6名)
- ③毎年ではないがジュニア連盟の他の委員会からも選出をする。
- ④自分で是非スタッフに入りたいという場合は、ジュニア連盟の事務局に連絡して下さい。

☆中学校の教師でなくても良いです。

※別紙でも分かりますとおり、毎年必ず強化委員会以外の指導者に協力してもらっています。

全道の各協会・連盟から推薦してもらおう場合とこちらから依頼する場合があります。推薦者が多くある年はバランスを考えて、同じ地区に偏らないようにし、現在の指導に対する意識や経験等を総合的に判断しながら選出をしています。また、頑張っている指導者にはできる限りチャンスを与えたいと考えています。その他、強化委員会だけではなく、別な委員会からも協力してもらいながら、強化が閉鎖的にならないように、ジュニア連盟全体で取り組んでいく意識を持ちながら進めていきたいと考えています。

2. 条件

- ① J B A (日本バスケットボール協会) の公認コーチの資格保持者。
- ② 現在チームを熱心に指導している指導者。(チームが強い・弱いは問わない)
- ③ 北海道のチームを優勝させたいと思っている指導者。
- ④ 色々なクリニック等に参加し、勉強している指導者。
- ⑤ バスケを心から好きな指導者。

3. 主な活動計画

| 月 | 活 動 内 容 |
|-----|---|
| 3月 | 全道学年別大会(1年生大会) |
| 4月 | 各地区春季大会 |
| 5月 | 各地区春季大会 |
| 6月 | 中体連地区大会 |
| 7月 | 中体連地区大会 |
| 8月 | 中体連全道大会 中体連全国大会 ☆各地区で1・2生対象の練習会の実施(選手強化と有望選手の発掘) |
| 9月 | 中体連地区新人大会 ◎都道府県対抗ジュニア大会選手第一次選考 (各地区協会から代表選手の推薦をしていただいて、男女各30人前後に書類選考する) |
| 10月 | 中体連地区新人大会、各地区協会新人大会 ◎第一次 Jr 強化合宿の実施予定 |
| 11月 | 各地区協会新人大会 |
| 12月 | 全道新人大会南北大会 ◎二次合宿参加選手の最終決定 |
| 1月 | 全道新人大会決戦大会 北海道カップ ◎第二次 Jr 強化合宿の実施予定(男女各12名に選考する～最終選考) |
| 2月 | ◎強化練習を実施(毎週土日) |
| 3月 | ◎強化練習を実施(毎週土日) ◎全道学年別大会 ◎都道府県対抗ジュニア大会<28日~30日、東京など> |

<これまでのジュニアオールスターチームスタッフ> _____ が強化委員会以外のスタッフ

| 年度(平成) | 開催回数 | 参加チーム数 | チームスタッフ | その他 |
|--------|------|--------|--|--------|
| 2年度 | 第4回 | 16チーム | 男子=幸丸政実、加藤隆明、 <u>辻野裕義</u> 女子=渡辺宏悦、磯部一雄、 <u>清原和広</u> | 初の参加 |
| 3年度 | 第5回 | 16チーム | 男子=石川徹、三上淳、秀島起也 女子=服部英俊、北本貴史、 <u>大谷和範</u> | |
| 4年度 | 第6回 | 16チーム | 男子= <u>太島清正</u> 、秀島起也、篠原正和 女子=服部英俊、 <u>竹内昭二</u> 、加藤隆明 | 男子=優勝 |
| 5年度 | 第7回 | 16チーム | 男子=高柳知己、 <u>鈴木康裕</u> 、篠原正和 女子=荒井泰臣、石川徹、北本貴史 | 男子=準優勝 |
| 6年度 | 第8回 | 16チーム | 男子= <u>小笠原輝幸</u> 、秀島起也、加藤隆明 女子= <u>太浦浩</u> 、 <u>浅利望</u> 、加藤隆明 | 女子=優勝 |

| | | | | |
|------|------|---------------------|---|---------|
| 7年度 | 第9回 | 24チーム 2チーム 参加 | 男子・北＝早坂昭、北村剛 女子・北＝林忍、北本貴史 男子・南＝秀島起也、佐保猛 女子・南＝篠原正和、吉本浩志 | 南男子＝準優勝 |
| 8年度 | 第10回 | 48チーム | 男子＝秀島起也、松本浩幸、高橋比呂也 女子＝吉本浩志、高島恵樹、森岡英生 | |
| 9年度 | 第11回 | 48チーム | 男子＝早坂昭、工藤亘、田中覚 女子＝大浦浩、佐藤義紀、篠原正和 | |
| 10年度 | 第12回 | 48チーム | 男子＝早坂昭、安達一男、田中覚 女子＝篠原正和、山田秀剛、北村剛 | |
| 11年度 | 第13回 | 48チーム | 男子＝秀島起也、菊池学、鈴谷勉 女子＝篠原正和、宗岡安隆、星卓志 | |
| 12年度 | 第14回 | 48チーム | 男子＝吉本浩志、飛騨野文彦、北村剛 女子＝大浦浩、武内亮、鈴谷勉 | |
| 13年度 | 第15回 | 48チーム | 男子＝吉本浩志、池田靖秋、北村剛 女子＝大浦浩、坂田明彦、鈴谷勉 | |
| 14年度 | 第16回 | 48チーム | 男子＝田中覚、小川有至、鈴谷勉 女子＝三上山三博、小林大介、加藤隆明 | |
| 15年度 | 第17回 | 48チーム | 男子＝田中覚、長谷川猛、北村剛 女子＝高島恵樹、宗岡安隆、小林淳 | |
| 16年度 | 第18回 | 48チーム | 男子＝北本貴史、柴田邦彦、土橋到史 女子＝篠原正和、野崎師靖、小川陽 | |
| 17年度 | 第19回 | 48チーム | 男子＝高橋和也、森野泰宏、細田幸男 女子＝柴田邦彦、篠原正和、高島伸彦 | |
| 18年度 | 第20回 | 48チーム | 男子＝池田靖秋、森野泰宏、山田明 女子＝高島伸彦、丸谷美和子、加藤隆明 | 男子＝優勝 |
| 19年度 | 第21回 | 48チーム | 男子＝高橋和也、鈴谷勉、竹治義規 女子＝高島伸彦、赤松政彦、小林淳 | |

HBA（北海道バスケットボール協会）指導者育成専門委員会